

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(有)ケアシェルパ	代表者	佐鳥和樹	法人・事業所の特徴	利用者様一人一人の人格を尊重し、住み慣れた地域での暮らしを継続することが出来るよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者様の心身の状況、希望及び置かれている環境を踏まえて、通いのサービス。訪問サービス及び宿泊サービスを柔軟に組み合わせることにより、地域での暮らしを支援します。
事業所名	小規模多機能ホーム あたがわ	管理者	小川 忍		

協力者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	12人	1人	人	人	人	17人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	定期的に全体で自己評価外部評価を見直し話し合いの場を設ける	全体的に見直し話し合いの場を設けたが細かいところまでは確認できなかった。少しずつだが自己評価は上がってきている	・みんなよく頑張っていると思います。 ・明るい雰囲気の良いと思います	個々の意識を高められるように意識していく
B. 事業所のしつらえ・環境	プランターの花植えなどは選ぶ所から利用者様に参加していただき個別での作品を活用し展示後自宅に持って帰っていただく	花の苗を買いに行きプランターに植えたり、味噌作りをして出来た味噌を自宅に持って帰ってもらう事が出来た	以前のところではデイサービスに行きたがらなかったが小規模さんになってからは楽しいみたいで迎えに来るのを待っている	掲示板を活用しイベントや認知症カフェの開催を発信し地域の方が気軽に立ち寄れるような事業所にしていく
C. 事業所と地域のかかわり	ホームを地域交流の場とするのに周知方法を確立していく	掲示板を購入した。設置までに時間がかかったが掲示板を使って発信したら地域の方などが足を止め掲示板を見ている人が増えた	本人だけでなく家族の体調も気にかけて声をかけてくれる ・困った事があって相談したら直ぐに対応してくれ手すりやベットの提案をしてくれた	ホームを地域交流の場としつつこちらからも地域行事や学校行事などにも参加していく
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ニューサマーカフェなどに出向いたり地域の行事にも積極的に参加していく	・奈良本のニューサマーカフェなどには行けたが稲取地区には行けなかった ・ご近所の気になる方などがいるなどの相談があった時には訪問し話を聞いたりしました	・カフェなどで昔の知り合いに声をかけられて嬉しそうにされていた ・認知症サポーター養成講座に参加して認知症について正しい理解が出来た	地域資源を活用し交流の場とする
E. 運営推進会議を活かした取組み	推進会議を通してホームの事や認知症の方の理解をしていただけるようにしていく	GH と別に会議を行ったりイベント後に会議を開いたことで普段の様子や活動を知ってもらえた	・遠方だったり自分自身高齢で参加出来ない ・会議後に利用者様とみんなで花植えをし交流がもてた	掲示板等を使い推進会議を行う事を周知し地域の方にも参加してもらえるようにする

F. 事業所の 防災・災害対策	警報や避難勧告が出た時に地域の方と協力し合い誰ひとり残さず避難できる為に近所の方にも訓練に参加していただけるように発信していく	近所の方に参加はなかったがご家族の方が参加してくれた	台風の時など自宅に一人であるのが心配で相談したら急遽の泊まりにも対応してくれ安心できた	備蓄をしっかりと整えて備品の使用方法を定期的に確認する
--------------------	---	----------------------------	---	-----------------------------